

# ウッド電波時計

MODEL: 8727

## 取扱説明書・保証書付

このたびは弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
ご使用いただく前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いいただきませうようお願いいたします。また、この取扱説明書(保証書付)はお手元に保存の上、必要に応じてご覧ください。

### 本製品の特長

- 東西(福島、佐賀)の標準電波を自動的に選局受信して、現在の時刻を表示する電波修正機能(日本国内有効)
  - 電波受信できない場合でも、通常のクォーツ時計としてご使用になれます。
  - 40/60kHz自動受信タイプ
  - アラーム&スヌーズ機能
  - 12/24時間表示切替
  - 温度
  - 使用電池/単4×2個
- ※この製品は日本国内用です。海外での使用には適していません。手動で時刻合わせをしていても、まれに日本標準電波を受信し、日本時刻を表示してしまう恐れがあります。

### 電波クロックについて

#### 電波修正機能とは

正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、現在時刻を表示する時計です。

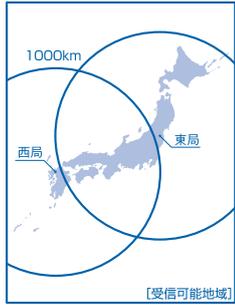
#### 標準電波とは

福島県の大鷹島(おたかどやま)標準電波送信所(周波数40kHz)と、福岡・佐賀県境の羽金山(はかなやま)標準電波送信所(同60kHz)の2ヶ所から常時送信されています。ただし、地域、地形などの影響により、遠い方の送信所の電波を受信する可能性がありますので、受信に失敗した場合はもう一方の送信所からの電波もお試しください。  
※標準電波は、送信所の設備点検や落雷などの影響により停波される場合があります。  
※電波を受信できない場合は、通常のクォーツ時計として月差±40秒の精度で計時します。

#### 電波受信の条件

受信可能地域の目安は、条件により異なりますが各送信所よりおおむね1000kmです。受信範囲内であっても、地形・建物の影響などによる不受信や天候・設置場所・時計の向き・時間帯により受信できない場合があります。

通常は東日本では東局(周波数40kHz)西日本では西局(同60kHz)の電波がより受信しやすいと考えられています。ただし、地域、地形などの影響により、遠い方の送信所の電波を受信する可能性がありますので、受信に失敗した場合はもう一方の送信所からの電波もお試しください。  
※標準電波は、送信所の設備点検や落雷などの影響により停波される場合があります。  
※電波を受信できない場合は、通常のクォーツ時計として月差±40秒の精度で計時します。



#### 受信に適している場所、不向きな場所・時間帯について

本製品は、AMラジオと同様に内蔵のレシーバーにより電波を受信するものです。できるだけ、電波の受けやすい窓際もしくは時計体の正面または裏面が送信所の方向に向く場所でご使用下さい。

次のような場所・時間帯では正確に受信できないことがあります。

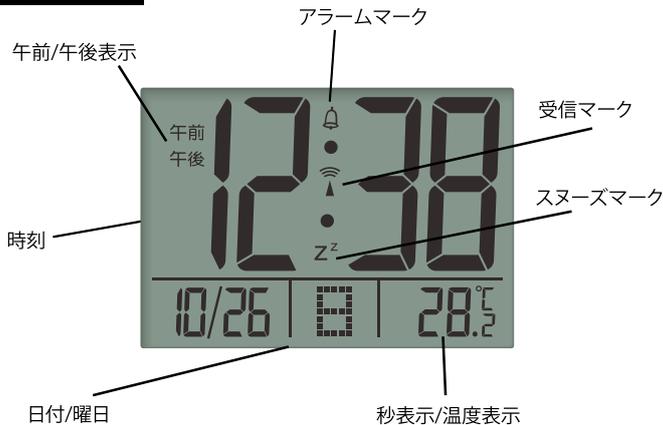
- ①鉄筋・鉄骨の建物の中、ビルの谷間、地下。
- ②電波を受信するのに妨げとなるノイズ(妨害波)の影響を受ける場所。
  - ・交通量の多い所、工事現場、電車の架線、高圧線、電波塔、空港の近く。
  - ・テレビ、インバータエアコン、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器近く。
- ③電波が反射されやすく、受信しづらい場所。
  - ・スチール机などの金属製家具の上や近く、金属を使った壁面。
- ④乗り物の中。(自動車、バス、電車など)
- ⑤その他ラジオが受信しにくい場所など。
- ⑥昼間は生活上のノイズが多く発生するため受信がしづらくなっています。夜間に受信することをおすすめします。

#### 受信強度

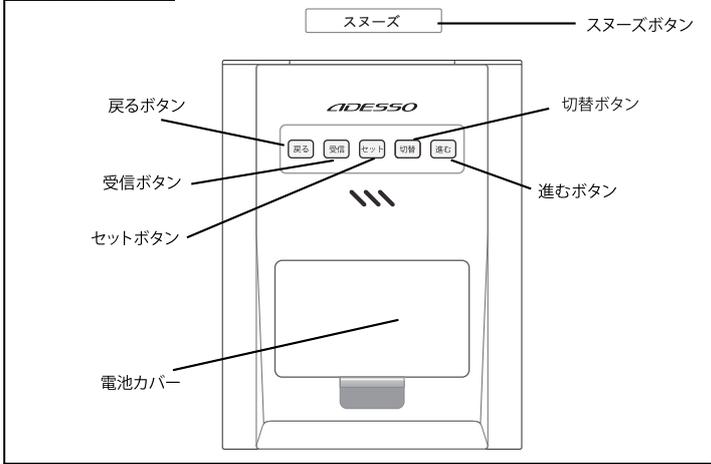


▲のマークのみが点滅していると電波受信をしにくく、  
▲のマークが出てると受信状況が良いサインです。

### 液晶ディスプレイ



### 裏面/天面



### 電波受信方法

#### ■電波自動受信方法

- 1.裏面の電池カバーを開けて電池の⊕⊖を間違えないように入れてください。入れ終わったら電池フタを元に戻してください。
- 2.液晶画面が全点灯し、午前12:00表示してから受信マークが点滅し、電波の受信を開始します。(電波受信中は受信マークが点滅します)
- 3.本体を窓際などできるだけ電波の受信しやすい場所においてご使用ください。
  - 受信が成功した場合、受信マークが点灯し、時刻、日付、曜日が正しく表示します。
  - ※受信成功後、現在時刻、日付が正しく表示されているか確認してください。
  - 受信ができなかった場合、受信マークが消灯し、時刻、日付、曜日の修正は行いません。
  - ※この場合、置き場所を変えてから、受信ボタンを押して再度受信マークを点滅させ、強制的に受信させるか、手動「電波を受信できなかった場合」を参照してください)で時刻、日付を合わせてください。
  - ※地域環境条件によっては受信不調により、受信に時間がかかる場合があります。夜間は受信状態が良くなるため、一昼夜そのままにして様子みてください。

### 電波を受信できなかった場合

- 電波を自動受信できなかったときは、受信ボタンを長押ししてもう一度標準電波の受信を開始してください。
- うまく受信できない場合は、本体の向きや置き場所をかえて、もう一度受信させてください。ご使用中受信マークが表示されない場合、使用場所の受信状態が良くないと思われる。また、一日の内で夜間の方が昼間に比べて比較的受信状態が良くなりますので、受信できなかった場合でも一昼夜置くことにより受信できる場合があります。

#### ■手動での時刻・カレンダーの合わせ方

- 1.セットボタンを長押ししてください。「12H」が点滅しますので進む/戻るボタンを押して12/24時間制の選択をしてください。
- 2.次にセットボタンを押すと「秒」が点滅します。進む/戻るボタンを押すと秒が0になりますので秒単位まで正確に合わせるときに便利です。
- 3.次にセットボタンを押すと「時」が点滅しますので、進む/戻るボタンを押して「時」を合わせてください。
- 4.次にセットボタンを押すと「分」が点滅しますので、進む/戻るボタンを押して「分」を合わせてください。
- 5.次にセットボタンを押すと「年」が点滅しますので、進む/戻るボタンを押して「年」を合わせてください。
- 6.次にセットボタンを押すと「月」が点滅しますので、進む/戻るボタンを押して「月」を合わせてください。
- 7.次にセットボタンを押すと「日」が点滅しますので、進む/戻るボタンを押して「日」を合わせてください。最後にセットボタンを押すと手動でのセットは完了し通常時刻に戻ります

※曜日は日付をセットしたときに自動的に合わせます。

※操作中に約20秒間何もしていないとその時表示されている状態がセットされ、通常時刻表示に戻ります。

### アラームについて

#### ■アラームのセット方法

- 1.切替ボタンを押してアラーム時間モードにしてください。(右下にALと表示されます。)次に、セットボタンを2秒間押すと「時」が点滅しますので進む/戻るボタンを押して「時」を合わせてください。(進む/戻るボタンを押し続けると早送りします。)※約20秒間以上押さない状態が続くと自動的に通常時刻表示に戻ります。
- 2.次に、セットボタンを押すと「分」が点滅しますので、進む/戻るボタンを押して「分」を合わせてください。次にセットボタンを押してアラーム時刻セットを完了させてください。最後に進むボタンを押してアラームマークを表示させてください。マークが表示されていないとアラームは鳴りません。切替ボタンを押すと通常時刻に戻ります。

#### ■アラームを止める場合

- 1.アラームを完全に止める場合  
アラームが鳴っているとき、スヌーズボタン以外のいずれかのボタンを押すとアラーム音が止まります。この場合次の日の同じ設定時刻に再びアラームが鳴ります。
- 2.6分後に再度アラームを鳴らしたい場合(スヌーズ機能)  
アラームが鳴っているとき、スヌーズボタンを押すとアラーム音が止まり、約6分後に再び鳴り出します。スヌーズ中はスヌーズマークが点滅します。  
※スヌーズ機能は何回も繰返すことができます。
- 3.アラーム音が鳴っている時いずれのボタンを押さないでいると、約1分後に自動的に止まります。(オートストップ機能)この場合、アラームマークは表示されたまま翌日の同じ時刻に再びアラームが鳴ります。

#### ■アラームを次の日以降鳴らさないようにする場合

進むボタンを押してアラームマークを消灯させてください。

## 秒表示/温度表示切りかえについて

通常画面表示時に戻るボタンを押すと秒を表示するか温度を表示するか選べます。温度表示時には時と分の間の2つの点が点滅します。

## 電池について

### ■電池の交換方法

裏面の電池カバーを開けて、電池の⊕⊖を間違えないように入れてください。入れ終わったら電池カバーを元に戻してください。

## 警告

### ●アルカリ電池について

- ①ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。アルカリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱、破裂の原因となります。
- ②万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合にはきれいな水で洗い流し、眼に入ったときはきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

## 注意

### ●電池について

下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えますと、液もれや破裂などのおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となります。

- ①⊕⊖を正しく入れてください。
- ②電池を取り替えるときは、指定の新しい電池とすべて交換してください。
- ③この電池は充電式ではありません。絶対に充電しないでください。
- ④電池に直接ハンダ付けしないでください。
- ⑤直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。
- ⑥時計が止まったり、時計を使わないときは、電池をはずしてください。
- ⑦時計に添付の電池は工場出荷時よりつけられていますので、電池寿命は製品仕様の表示より短いことがあります。

## 使用場所・お手入れ方法

### ■使用場所

- つぎのような所では、使わないでください。
  - 温度が-10℃(氷点下10度)以下になる所。
  - 温度が+50℃(50度)以上になる所や直射日光が当たる所。  
例えば、屋外、暖房器具などの熱風や熱が当たる所、そのほか火気に近い所。
  - 浴室など湿気の多い所。
  - 強い磁気や振動がある所。
  - 電波ノイズを発生させるものの近く。

### ■お手入れ方法

- 日常の手入れの仕方。
  - 枠をふくときは、湿ったやわらかい布でふいてください。
  - よごれがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を少量、やわらかい布につけてふき、ふいた後で乾かしてください。
  - ベンジン、シンナー、アルコール、ミガキ粉、各種ブラシなどは使わないでください。
  - 殺虫剤、ヘアスプレーなどもかからないようにしてください。

## 故障かなと思ったときには

製品が正常に作動しないときは、修理を依頼する前に、この表を参考にお調べください。なお、新しい電池と交換される際は、電池の使用推奨期限をご確認のうえご使用ください。

症状	考えられる原因	処置
表示がでない	電池が入っていない 電池の容量が少なくなっている	指定の新しい電池を電池の向きを確かめて入れてから入れ直して下さい。
	電池が正しい向きで入っていない きちんとリセットされていない	電池を1度抜いて入れ直し設定をリセットして下さい。
表示が欠けている	電池の容量が少なくなっている	新品の電池をお試しください。
	きちんとリセットされていない 静電気などによる誤動作	電池を1度抜いて入れ直し設定をリセットして下さい。
時刻またはカレンダーが合っていない	受信に成功していない	表面「電波を受信できなかった場合」をお確かめのうえ再度受信させてください。
	電池の容量が少なくなっている	新品の電池をお試しください。
	きちんとリセットされていない	電池を1度抜いて入れ直し設定をリセットして下さい。
アラームの音が鳴らない	アラームマークが表示されていない	アラームマークを表示させてください。
	静電気などによる誤動作	電池を1度抜いて入れ直し設定をリセットして下さい。
	電池の容量が少なくなっている	新品の電池をお試しください。

## 液晶パネルについて

- 液晶パネルが破損した場合、ガラス及び中の液晶には十分に注意してください。万一以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。
- 皮膚に付着した場合  
付着物をふき取り、水で流し、石けんで良く洗浄してください。
- 目に入った場合  
きれいな水で良く洗い流し、最低15分間洗浄した後、直ちに医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合  
きれいな水で良く口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出した後、直ちに医師の診断を受けてください。
- 見る方向によって表示が薄くなったり、ムラになったりすることがあります。
- 温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなる場合があります。
- 温度が高くなると液晶パネル面が黒くなり、判読できなくなることがあります。
- 液晶パネル面に触れないでください。表示が薄くなったりムラになることがあります。しばらく放置しますと元に戻ります。